

研究施設・センター等とその機能

施設等の名称	施設等の概要
附属幼年教育研究施設	<p>幼年教育研究施設は、幼児教育・保育にかかわる諸課題に関して、学内外の諸機関と連携をとりつつ、共同研究を企画施行するとともにシンポジウムや講演などの企画施行をとおして、その成果を保育現場や地域に還元・普及し、あわせて保育者の専門性の向上に資することを目的としている。</p> <p>施設には幼児教育学部門と幼児心理学部門の2部門をおき、乳幼児期の認知的・社会的発達、幼年期のカリキュラムの開発、指導法、政策、障害児保育など、ひろく子どもの心身の発達と家族支援にかかわって、学際的に研究を行っている。広島大学附属幼稚園と密接な連携を保ちつつ、実践的な共同研究を行っていることも、本研究施設の特徴の一つである。</p> <p>さらに、本研究施設に所属する教員は大学院人間社会科学研究科学生の指導を担当し、院生指導と研究活動を連携させつつ、幼児教育学・幼児心理学の研究者と高度な専門性をそなえた職業人の養成にあたっている。</p>
附属教育実践総合センター	<p>教育実践総合センターは、社会的要請に応える教員養成のための学部教育カリキュラムの開発研究と指導、先進的な指導法や教材開発に関する実践研究と交流、並びに現下の学校教育が抱える諸問題の早期解決を図るための実践研究の推進を目的とするものである。</p> <p>センターには、①教育実践研究開発部門、②学校教育相談実践部門の2部門を置き、教育委員会及び本学附属学校等と緊密な連携をとり、目的達成のための研究・実践活動を推進している。</p> <p>なお、学校教育相談実践部門には、平成18年度より、学校心理教育相談室(にこにこルーム)を設置し、学習や生徒指導・教育相談にかかわる心理教育的支援、学校心理学に関する研究・教育を行うとともに、学校心理学に関する研修の機会を提供している。</p>
附属特別支援教育実践センター	<p>特別支援教育実践センターは、特別支援教育分野に関する基礎的・実践的研究を推進するとともに、同分野に関する教育及び教育相談等を実施することにより、教育臨床効果の高いエビデンスを探求する研究眼を持ち、なおかつ高度な実践力を有する教員を養成し、もって障害児(者)の教育と福祉に寄与することを目的としている。</p> <p>センターは、下記の事業について活動を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害児(者)の教育に関する相談、助言及び障害児(者)に対する教育的支援 2. 学生への特別支援教育分野に関する実践的教育 3. 現職の教師、指導者への研修 4. 障害児(者)の教育的支援及び支援にかかわる諸問題についての調査及び研究

施設等の名称	施設等の概要						
	<p>センターには、①視覚障害教育分野、②聴覚障害教育分野、③知的障害教育分野、④肢体不自由教育分野、⑤発達障害教育分野、⑥言語・コミュニケーション障害教育分野の6分野があり、センターと特別支援教育学講座の教員とが連携し、さまざまな障害のある子ども・成人の相談・臨床を行うとともに、学部学生や大学院学生らをセンターの研修相談員として位置づけ、教員の指導のもと教育相談・臨床業務に携わっている。</p>						
<p>附属心理臨床教育研究センター</p>	<p>心理臨床教育研究センターは、心理臨床に関する理論的・実践的研究を推進するとともに、心理臨床に関する教育及び相談等を行い、心理臨床に係る諸問題の解決に寄与することを目的として、平成14年4月に設置された。センターは、昭和58年に特別施設として設置された心理教育相談室を発展的に改組したものである。</p> <p>センターの主要業務は下記のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理臨床の研究及び研究交流 2. 臨床心理学を専攻する大学院生等の心理臨床教育 3. 地域社会の人々に対する心理臨床的支援（心理教育相談） 4. 心理臨床関係者の再教育・研修 <p>センターの心理教育相談部門では、文部科学省より認可を受けて本学「心理教育相談受託規則」に基づき、上記の主要業務3に関係する有料制の心理教育相談事業を行っている。発達やことばの遅れ、子どものしつけ、いじめや不登校、生徒や従業員への対応、性格や行動、自分の生き方、家族や夫婦の葛藤、仕事上の悩みやストレス、などの広範な心理的問題を抱えて来談する人たちに対して心理査定やカウンセリングを行い、心理教育相談に応じている。なお、相談の種類は以下の通りである。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 初回面接</td> <td style="width: 50%;">2. 本人との面接</td> </tr> <tr> <td>3. 遊戯療法</td> <td>4. 保護者との面接</td> </tr> <tr> <td>5. 心理検査</td> <td>6. コンサルテーション面接</td> </tr> </table>	1. 初回面接	2. 本人との面接	3. 遊戯療法	4. 保護者との面接	5. 心理検査	6. コンサルテーション面接
1. 初回面接	2. 本人との面接						
3. 遊戯療法	4. 保護者との面接						
5. 心理検査	6. コンサルテーション面接						
<p>ペスタロッシー資料室</p>	<p>ペスタロッシーならびにコメニウスに関する図書1,000有余部を蔵し、殊にペスタロッシーの直筆書簡や初版による著書は珍書として、その他チェコスロバキア共和国より受贈したコメニウス文献等は、日本における貴重な資料として尊重されている。また、故長田新教授の蔵書が長田文庫として保管されている。</p>						
<p>異文化間教育推進室</p>	<p>広島大学大学院人間社会科学研究科は、同研究科及び教育学部における異文化間教育研究に資する事業を企画立案・実施するために、異文化間教育推進室を設置した。具体的には、次の業務内容を担う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育研究成果の国際的発信 2. 学生・教職員の海外派遣支援及び留学生の就学支援 3. グローバル教員養成プログラムの実施協力 4. 海外大学とのダブルディグリープログラムの実施協力 5. 森戸国際高等教育学院「3+1プログラム」の実施協力 6. 幼稚園、小・中学校、高等学校及び教育委員会との連携活動推進 						